

グローバルステップ研修
〜自文化(自社)を知ろう〜

新入社員に

まずは

施すべからず

グローバル教育

グローバル環境でのビジネスに必要なことは、
相手(異文化)を理解するよりも、
まず自社(自文化)を知ることです。
相手を知り、英語ができたとしても、
伝えたい内容がなければ、ビジネスにはなりません。
多国籍の外国人との日本語でのディスカッションを通じて
自社への理解を深めませんか？

開催日時:

8月8日(木) 14:00-17:00 (開場13:30)

会場: 株式会社ウィル・シード会議室

参加費無料

自社が外国人からどう映るのか。

グローバルな視点や発想で考える体験

こそ 新入社員に必要とウィル・シードは考えます。

日本企業の多くは、今後縮小する国内市場を見越して、海外売上比率を上げることを目標に掲げています。会社の未来のためにグローバル化は喫緊の課題、しかし、新入社員にはさしあたって海外と関わる業務はない。そんな状況の中、新入社員にはどんなグローバル教育が必要なのでしょう。

まず、どんなビジネスにおいても①グローバル環境を前提に(グローバル基準で)考えるクセをつけることが重要になると考えます。グローバル化とは、英語ができることではなく、自社商品を海外へ輸出することだけでなく、グローバル環境でビジネスを捉え、その変化に対応することだからです。GAFAなどのIT企業は創業時からそれができていたとよく言われています。これは、残念ながら自社ビジネスについて知見がある先輩社員からはなかなか学べません。このグローバル環境は先輩社員が入社したときにはなかった「前提」条件なのです。

次に、グローバルビジネスをするためには、海外の相手を知るよりもまず、②自社ビジネス(自社=“自文化“)について知り、外国人に話れるようになることが必要です。学生時代なら、外国人に慣れ、英語に慣れることが目標でよかったかもしれませんが、企業が投資する研修なので「自社を話れる」ことがビジネスの大前提となります。外国人の視点から質問を受け、新たな強みを発見することもできます。

①&②があつてこそ、新入社員は、今後のキャリアにおいて「語学習得」「相手の異文化への理解」「海外の最新ビジネス情報収集」「自社の事業理解」の必要性を感じます。その後の語学研修や海外派遣研修、グローバル人材としてのキャリアへ連動させる大事なファーストステップとなります。全社員のグローバル「自分ゴト」化として、ぜひ、来年度に向けてご検討ください。

これまでに実施した新入社員の声 (アンケートより)

「グローバル」が自分の中で抽象的だったが、とても明確になった

「グローバル」が重要なのはぼんやりとわかっていたが、具体的にどういう姿勢が重要なのか、自分に何が足りないのかを知れた

「グローバル=英語」というイメージがこびりついている中で、自社の強みを理解することの重要性を実感した。

自社の強みのアピールが出来なければ、海外へは展開できないことを外国人セッションで学んだ。

海外から自社がどのようにみられているのか、何を期待されているのかを理解することができ、自社の強みを考えたことで、仕事に対するモチベーションが大きく向上した

グローバルな視点を持つことが大切であると改めて思った。これからは、グローバルな視点を持つために自分で知識を得ると思う

グローバルステップ研修～自文化(自社)を知ろう～

日時: 2019年8月8日(木) 14:00-17:00

会場: 株式会社ウィル・シード 会議室(恵比寿駅徒歩5分)

URL: <https://www.willseed.co.jp/access/>

最寄駅: 恵比寿駅

対象: 新人・若手階層別研修に携わる人事部署の責任者及び担当者様
グローバル人材育成に携わる部署の責任者及び担当者様

会費: 無料

定員: 12名

- グローバル化の具体的な理解とその変化に対応する必要性
- 多国籍の外国人との日本語でのディスカッションの解説
 - ・ 自社サービスについて外国人に語る
 - ・ 外国人から自社サービスへの質問を受け、新たな強みを知る
- 他のグローバル教育との連動
- 過去「グローバルステップ研修」を新入社員研修に導入された他社事例から
 - ・ 導入背景
 - ・ その後の効果

定員になり次第、受付を終了させていただきます。／1社2名様を上限とさせていただきます。／企業内の人事・教育ご担当者様以外のお申込は、お断りさせていただく場合がございます。予めご了承ください。

講座へのお申込みはwebサイトより受け付けています。

<http://www.willseed.co.jp/seminar/>

willseedセミナー

検索 